

令和7年11月吉日

会員各位

日本臨床衛生検査技師会北日本支部  
支部長 早坂 光司  
(公印略)  
染色体・遺伝子部門長 三浦 里織

\*\*\*\*\*

令和7年度 日臨技北日本支部「染色体・遺伝子検査部門」研修会

### 開催案内

\*\*\*\*\*

主 催：(一社)日本臨床衛生検査技師会 北日本支部  
実務担当技師会：(一社)北海道臨床衛生検査技師会

謹啓

会員の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。  
この度、令和7年度日臨技北日本支部染色体・遺伝子検査部門研修会を下記の通り  
Web 開催（オンデマンド配信のみ）いたします。今回は、「ゲノム検査が拓く～未来の健康診断～」と題しまして、遺伝子の多様性がどのような疾患リスクと関連があるのかといういわば「未来型の健康診断」に全ゲノム解析が果たす役割について、また、ゲノム検査を高い精度で行うための生体試料管理の実際についてお話いただきます。  
つきましては、業務多忙の中とは存じますが多くの皆様にご参加頂けますようお願い申し上げます。

謹白

記

- 【テーマ】 「ゲノム検査が拓く～未来の健康診断～」
- 【開催形式】 オンデマンド配信（日臨技 Web 研修会システム）
- 【配信期間】 令和8年2月16日（月）～ 2月28日（土）
- 【定員】 80名
- 【受講料】 1,500円（オンデマンド配信のため日臨技会員のみ）
- 【生涯教育研修制度】 専門教科20点

## 【プログラム】

講演1 「ゲノム情報を使った健康管理～ゲノムファーストの時代」(60分)

北海道大学病院臨床遺伝子診療部 教授・部長

/北海道大学大学院医学院 臨床遺伝学・医療倫理学 教授

/北海道大学病院パーソナルヘルスセンター 副部長 山田 崇弘先生

講演2 「ゲノム情報を活用した次世代型健診

～ポリジェニックリスクスコア(PRS)による疾病発症リスク予測～」(60分)

北海道大学病院 医療・ヘルスサイエンス研究開発機構特任講師

/パーソナルヘルスセンター 次世代健診部門長 横田 卓先生

講演3 「生体試料の管理について～北海道大学病院の取り組み～」(60分)

北海道大学病院 先端診断技術開発センター センター長

/生体試料管理室室長 畑中 佳奈子先生

## 【申し込み方法】

日臨技ホームページ (<https://www.jamt.or.jp/>) の会員専用ページから事前登録を行ってください。

**日臨技ホームページ⇒ 会員専用ページ ⇒ 参加申請 ⇒ 事前参加申し込み**

※日臨技 Web 研修会システムからの配信ですので、視聴は会員の方に限ります。ご了承くださいませようお願いいたします。

## 【申し込み期間】

令和7年12月15日(月)～令和8年1月30日(金)

## 【受講料振込】

受講料は事前参加申込時にクレジットカード決済されます。

クレジットカードでの支払いが難しい方は研修会事務局へお問い合わせください。

振込期限：令和8年1月30日(金)

受講料：1,500円

※申込後のキャンセルや変更は、必ず研修会事務局にご連絡ください。

## 【視聴方法】

受講料振込後、配信期間になると視聴が可能になります。

日臨技会員専用ページの **事前参加申込済一覧** から該当の研修会を選択し、**講義受講** をクリックして視聴してください。

本研修会における連絡は、全てメールで行います。

迷惑メール設定を行っている場合は、研修会事務局からのメールが受信できるように設定をお願いいたします。

**【ご注意】**

研修会内容において、講義動画の保存や撮影等による無断使用、講義資料の無断転載等の二次利用を固くお断りします。なお、本研修会の参加登録完了をもって無断使用・無断転載等の二次利用をしないことを誓約したことといたしますのでご了承ください。

**【研修会事務局】**

〒060-8648 札幌市北区北14条西5丁目  
北海道大学病院 検査・輸血部 佐藤 かおり  
Tel : 011-706-5714(直通)  
Email : kaori73@med.hokudai.ac.jp

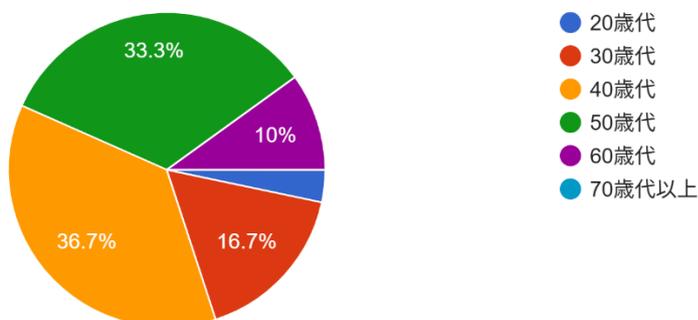
# 令和7年度日臨技北日本支部「染色体・遺伝子検査部門」研修会アンケート

オンデマンド配信：2026年2月16日（月）～2月28日（土）

- ◇ 受講申込み：79名（定員80名にて締切後2名キャンセル、1名締切後申込み）
- ◇ 受講修了：70名
- ◇ アンケート回答：30名

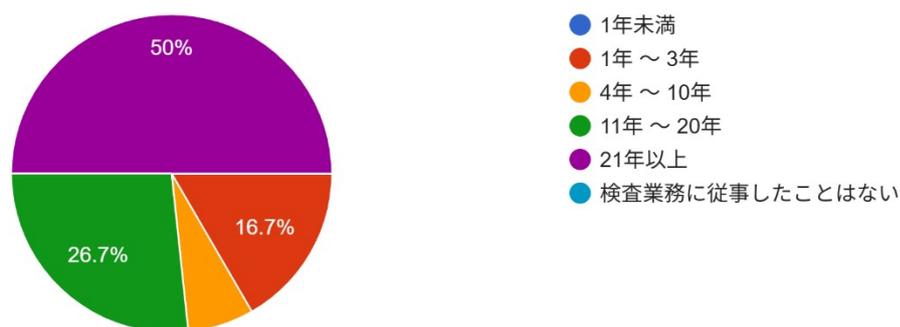
## 【1】あなたの年代を教えてください。

30件の回答



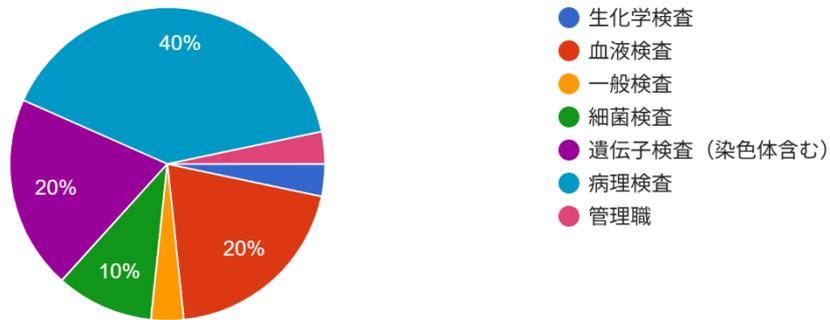
## 【2】臨床検査技師としての経験年数を教えてください。

30件の回答



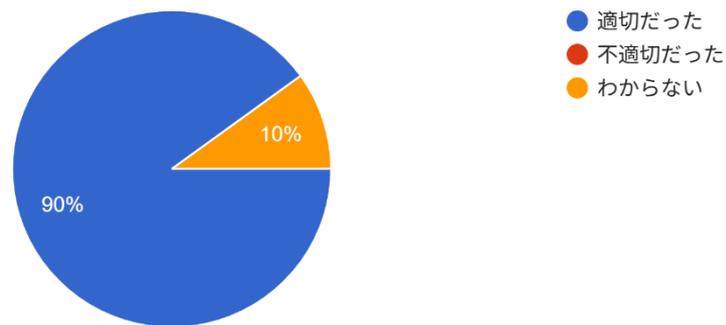
【3】主に従事している業務を教えてください。

30件の回答



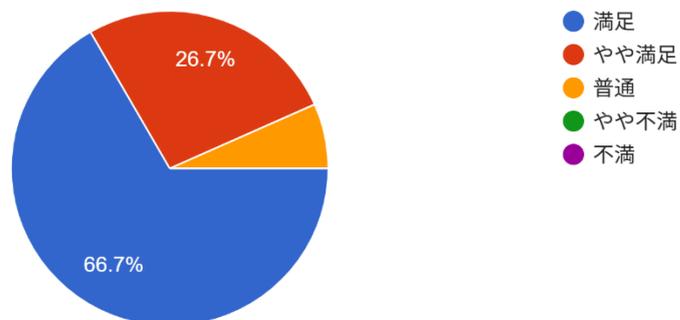
【4】今回のテーマは技師会の企画としてどうでしたか？

30件の回答



【5】本研修会の内容はいかがでしたか？（講演1～3全般）

30件の回答



【6】各講演内容について感想をお聞かせください。

- ・北大病院のPHCの在り方についてわかりやすかったです。
- ・PHCの役割と重要性について理解できた。
- ・ゲノム情報を利用したパーソナル健康診断は近い将来もっと一般的になるだろうと予想がつくので大変勉強になりました。また、北大のバイオバンクについても、貴重な検体を有効活用するためにどのような工夫がなされているのか紹介されていて興味深く拝聴させて頂きました。
- ・どのご講演もわかりやすく理解が進んだ。
- ・遺伝子検査が健康診断に用いられる時代になってきたが、北大のようなきちんとした施設でどのように行われているかや、今後の展望などが詳しく知る機会は貴重なので素晴らしい機会だった。
- ・講演3は病理検査に従事している者として参考になりました。
- ・最先端の情報・状況を知ることができて本当に感謝しています。公私ともに役立てる内容の各講演でした。
- ・遺伝子検査やバイオバンクなど最近話題になっている項目が聞けたので、有意義でした。
- ・普段健診業務に従事しているので、講演1、2を聴講し、これからのこの分野における大きな可能性を感じました。
- ・山田先生と横田先生の講演から、遺伝子から分かることが増えたことによって臨床への応用が可能となったことが良くわかり勉強になりました。畑中先生の取り組みで、臨床と研究がどの様にスムーズに連携しているか分かり勉強になりました。
- ・北海道大学病院様での先端的な取り組みに興味深く拝聴しました。
- ・3講演とも分かりやすかったです。バイオバンクについての講演は自施設でバンクの立ち上げ準備を進めており、個人的に非常にタイムリーでした。ありがとうございました。
- ・北海道大学が各部署連携して遺伝子検査や研究に取り組んでいることがよくわかりました。遺伝子検査の検診への利活用について結果の解釈や取り扱いについて今後の課題があると感じました。自施設も含めて、大学病院以外の施設の検体を研究に使用するにはより各部署の連携や取り決めが必要であると考えました。
- ・知らない事が多く、勉強になりました。
- ・ゲノム検査について詳しく知らなかったのですが、知ることができてよかったです。ありがとうございました。
- ・少し難しかったです。

【7】今後、研修会のテーマとして取り上げてほしい内容があればお聞かせください。

- ・遺伝子・染色体の基礎
- ・LDTの精度管理など
- ・院内で遺伝子検査を行う際の基本的な注意点など、これから理解したい人達向けの初歩的なこと。
- ・遺伝子検査の初歩的な内容、ピペットなど器具の基本的な扱い方や検査に関する用語解説など、改

めて復習するような事を希望します。

- 遺伝子検査の実際行われている検査実施方法の動画などをやってほしい
- 造血器パネル検査について。
- 今回の内容にもありましたが、「がんゲノム」について深掘りしてもらいたいです。また NGS、デジタル PCR を使いこなしている施設の話を知りたいです。
- がんゲノム検査に関する検体の取り扱いについて。検体取扱規定等マニュアルはあるが、各施設において実際にすべての項目を守ることが難しいのが現状だと思います。実際の運用面や課題について、大学病院やがんセンターなど大規模の施設の職員の話を知りたい。
- 入門編もあれば。